

検診 発見の近道

乳がん撲滅訴え行進 戸田

戸田市役所周辺で30日、乳がん撲滅を訴えて第5回ピンクリボンウォークが開かれ、市内外



乳がん撲滅を訴えたピンクリボンウォークで仮装の女性も登場—30日、戸田市

2・5キロを歩いた。
ウォークは神保国男市長と女優の杏さゆりさんらを先頭に、市役所から国道17号を南に回った。

途中の戸田中央総合病院では、同病院グループの戸田中央看護専門学校生徒らが軟らかいプラスチック製の乳房の形をした乳がん検診モデルを使って、自分で乳がんを発見する方法を説明。2年生の清水慶子さんが「触れてみてください」。

同校の教師、磯野記子さんは「一人でも多くの方ががん検診に行き、早期発見につながってほしい。患者さんの立場に立って、一人一人を見ていける看護師を育てたい」。

ゴリゴリと硬いしこりが指の先に触れた。「それが乳がんです」清水さんは「私たちの説明に、うなずいてくれる人がいて、それがうれしい」。2年生水島真希さんは「手応えを感じました」。横島千香子さんは「初めて乳がんの感触に触れて、皆さんが驚いていました」と語る。

「相談受付」の張り紙を張り出していた同病院の医師で乳腺外科部長の大久保雄彦（かつひこ）さん（56）は「週に2回手術をしています。術後の痛み、転移への不安の相談が多いですね」。ウォーク終了後、市役所中庭の駐車場で、歌手の森口博子さんのチャリティーコンサート「あなたと、あなたの大切な人を失いたくないから」が開かれた。

芝生に座っていた川口市に住む栄養士、岡田さつきさんは「今度で3度目。秋の気配を楽しみながら歩きました」。（岸鉄夫）